

令和7年度第1回薬剤師確保検討会議 次第

日 時：令和7年8月5日（火）～同年8月8日（金）

開催方法：書面会議（別途ZOOM）

1 開会

2 議題

令和8年度の事業（案）について

3 報告事項

県が令和7年度に実施する薬剤師確保に係る事業について

4 閉会

【資料】

資料 令和7年度第1回薬剤師確保検討会議

【参考資料】

参考資料1 神奈川県薬剤師確保検討会議委員名簿

参考資料2 神奈川県薬剤師確保検討会議設置要綱

令和7年度第2回薬剤師確保検討会議 次第

日 時：令和7年8月29日（金）17時00分～19時00分

開催方法：Web会議

1 開会

2 議題

- (1) 会長の選任について
- (2) 令和8年度の事業（案）について
- (3) 令和7年度の県内病院への調査について

3 閉会

【資料】

資料1 令和7年度第2回薬剤師確保検討会議

資料2 令和7年度の調査票（病院における薬剤師確保に係る実態調査）

【参考資料】 参考資料1 神奈川県薬剤師確保検討会議設置要綱

令和7年度第2回薬剤師確保検討会議 出席者名簿

No.	区分（要綱第3条）	氏名	所属団体等	出欠
1	神奈川県薬剤師会	久保田 充明	公益社団法人神奈川県薬剤師会 副会長	出席
2	神奈川県病院薬剤師会	喜古 博	公益社団法人神奈川県病院薬剤師会 副会長	出席
3	神奈川県医師会	高井 彦	公益社団法人神奈川県医師会 理事	欠席
4	神奈川県病院協会	篠原 希	公益社団法人神奈川県病院協会 常任理事	出席
5	大学その他の医療従事者の養成に係る機関	加賀谷 肇	湘南医療大学 薬学部教授	出席
6	大学その他の医療従事者の養成に係る機関	金田 正	横浜薬科大学 実務実習センター長	出席

（委員名：設置要綱第3条の規定による区分毎の50音順 敬称略）

令和7年度第2回薬剤師確保検討会議

神奈川県 健康医療局 生活衛生部 薬務課
令和7年8月29日

Kanagawa Prefectural Government

概要

- 少数又は個別に開催した第1回の会議にて、令和8年度事業（案）等について、委員の皆様からご意見をいただきました。
- 第2回の会議では、そのご意見を共有し、県の考え方をお示しします。
- また、ご意見を踏まえた令和8年度事業（案）を提示しますので、さらなるご意見をいただくとともに、来年度の事業（案）としてご承認をお願いします。
- 併せて、令和7年度に実施する県内病院への調査についても、ご提示します。

Kanagawa Prefectural Government

(議題2) 令和8年度事業(案)について(資料1)

1. 事業(案)①～⑤(第1回→ご意見と対応→第2回)
2. その他のご意見と対応(1)(2)
3. まとめ

(議題3) 令和7年度の県内病院への調査について(資料2)

1. 目的、調査方法等
2. 調査内容
3. まとめ

(議題2) 1. 令和8年度事業(案)①(第1回資料)

課題	長い労働時間
対策	薬剤師以外の人材の活用促進による薬剤師の業務負担の軽減
<u>事業(案)</u>	<u>調剤助手及び薬剤助手の活用が進んでいない病院向けに、既に活用が進んでいる病院の見学・相談会を実施する。</u> 内容には、採用の方法やプロセスなど、事務的なものを含む。
対象	参加を希望する県内の病院
開催方法	県内の病院 (数回程度、複数の地域での実施を想定)
協力	県病院薬剤師会
仕組み(案)	①県が見学・相談を希望する病院を募集 ②県が県病院薬剤師会と実施病院を調整 ③見学・相談会を開催 ④参加病院は新たな知見を入手し、自院の業務の見直しや体制構築に活用する。

(議題2) 事業(案)①に対するご意見と対応方針

(ご意見)

- 中小病院では助手ではできないことも多い。あくまで不足しているのは薬剤師なので、**まずは薬剤師を増やす取組みが必要**。
- 向精神薬等も取り扱う中で、**免許や訓練を受けていない者が業務を行うことに不安**がある。また、**県としての推進が適切か疑問**。
- 責任等の懸念は理解するが、**何を助手に任せられるのかを学ぶ良い機会**だと考える。ただし、赤字の病院は雇用の話を出しづらい。
- 当然教育は必要だが、**助手の活用は必要**だと思う。当院では主に医薬品の発注や請求関連業務を行っている。誤発注などの**ミスはゼロではないが、それは薬剤師でも起きること**。

(対応方針)

- 現時点では、**県として事業を実施することに賛否ある状況**。
- 引き続き情報収集に努め、**来年度は他の事業を優先する方針**とする。

(議題2) 1.令和8年度事業(案)①

R8は他の事業を優先

課題	長い労働時間
対策	薬剤師以外の人材の活用促進による薬剤師の業務負担の軽減
事業(案)	調剤助手及び薬剤助手の活用が進んでいない病院向けに、既に活用が進んでいる病院の見学・相談会を実施する。 内容には、採用の方法やプロセスなど、事務的なものを含む。
対象	参加を希望する県内の病院
開催方法	県内の病院 (数回程度、複数の地域での実施を想定)
協力	県病院薬剤師会
仕組み(案)	①県が見学・相談を希望する病院を募集 ②県が県病院薬剤師会と実施病院を調整 ③見学・相談会を開催 ④参加病院は新たな知見を入手し、自院の業務の見直しや体制構築に活用する。

(議題2) 1.令和8年度事業(案)②(第1回資料)

課題	長い労働時間
対策	魅力ある職場づくりの推進
事業(案)	<u>病院薬剤部の管理職、中堅薬剤師向けに組織マネジメントや人材育成に関する研修を開催する。</u>
対象	参加を希望する県内病院薬剤部の管理職及び中堅薬剤師
開催方法	実地(グループワーク含む)又はオンライン
協力	組織の人材育成や業務コンサルティング等を行う民間業者(病院や薬剤師に注力した業者を第一候補とする)
仕組み(案)	①県が研修の実施業者及び講師と内容を調整。 ②県が研修に参加する薬剤師等を募集。 ③開催 ④参加者は新たな知見を入手し、自院の組織マネジメントや人材育成に関する制度の見直し、体制構築に活用する。

(議題2) 事業(案)②に対するご意見と対応方針

(ご意見)

- 特になし。

(対応方針)

- 県病院薬剤師会にて、類似の取組みが行われているため、**来年度は他の事業を優先する方針**とします。

(議題 2) 1. 令和 8 年度事業 (案) ②

R8は他の事業を優先

課題	長い労働時間
対策	魅力ある職場づくりの推進
事業 (案)	<u>病院薬剤部の管理職、中堅薬剤師向けに組織マネジメントや人材育成に関する研修を開催する。</u>
対象	参加を希望する県内病院薬剤部の管理職及び中堅薬剤師
開催方法	実地 (グループワーク含む) 又はオンライン
協力	組織の人材育成や業務コンサルティング等を行う民間業者 (病院や薬剤師に注力した業者を第一候補とする)
仕組み (案)	① 県が研修の実施業者及び講師と内容を調整。 ② 県が研修に参加する薬剤師等を募集。 ③ 開催 ④ 参加者は新たな知見を入手し、自院の組織マネジメントや人材育成に関する制度の見直し、体制構築に活用する。

(議題 2) 1. 令和 8 年度事業 (案) ③ (第 1 回資料)

課題	実務実習後の病院志望の減少
対策	実習以前から、病院薬剤師の魅力や働き方を知る機会の創出
事業 (案)	<u>① 大学で現役の病院薬剤師による講演を実施。</u> <u>② 病院薬剤部の見学・相談会を実施。</u>
対象	実習前の学生 (3 ~ 4 年生)
開催方法	① 大学 (県内の 2 大学+aを想定) ② 病院薬剤部 (2 回程度、規模や機能の異なる病院を想定)
協力	大学、県病院薬剤師会
仕組み (案)	① 県が大学、県病院薬剤師会及び開催病院と内容を調整 ② 大学で講演実施 ③ 病院で見学・相談会を実施 ④ 実習前に病院薬剤師の姿を具体的に知る。魅力等の理解とともに、実習時のギャップが減る。

(議題2) 事業(案)③に対するご意見と対応方針

(ご意見)

- 同様の取組みが既にカリキュラムに含まれている大学も多い。実施の場合は、単に魅力や働き方を「知る」機会ではなく、「伝える」機会とする必要があると思う。
- 大学では「アーリーエクスポージャー(早期体験実習)」として、現役の薬剤師による講義や臨床現場を見学する取組みが行われている。
- コロナ前は3、4年生が病院見学に来ていたが、現在は来ない。実施していない大学があれば、良い取組みだと思う。
- 大学から見学者が来るが、1日で病院全体を回る程度のもの。日数が確保できれば、もっと薬剤部の紹介ができると思う。

(対応方針)

- 大学によって類似の取組みが行われているため、来年度は他の事業を優先する方針とします。

(議題2) 1.令和8年度事業(案)③

R8は他の事業を優先

課題	実務実習後の病院志望の減少
対策	実習以前から、病院薬剤師の魅力や働き方を知る機会の創出
<u>事業(案)</u>	<u>①大学で現役の病院薬剤師による講演を実施。</u> <u>②病院薬剤部の見学・相談会を実施。</u>
対象	実習前の学生(3~4年生)
開催方法	①大学(県内の2大学+aを想定) ②病院薬剤部(2回程度、規模や機能の異なる病院を想定)
協力	大学、県病院薬剤師会
仕組み(案)	①県が大学、県病院薬剤師会及び開催病院と内容を調整 ②大学で講演実施 ③病院で見学・相談会を実施 ④実習前に病院薬剤師の姿を具体的に知る。魅力等の理解とともに、実習時のギャップが減る。

(議題2) 1.令和8年度事業(案)④(第1回資料)

課題	実務実習後の病院志望の減少
対策	実務実習に関する学生及び受入れ施設の認識を理解する
事業(案)	<u>実務実習を終えた学生及び受入れ施設にアンケートによる意識調査を実施する。</u>
対象	①実務実習を終えた薬学生(R6調査事業と同程度を想定) ②学生を受け入れた病院及び薬局
実施方法	①事務局等を通じて、電子等のアンケートを実施 ②団体窓口等を通じて、電子等のアンケートを実施
協力	大学、県薬剤師会、県病院薬剤師会
仕組み(案)	①県が大学、県薬剤師会、県病院薬剤師会と調査内容及び実施方法を調整 ②①に基づき、県が調査を依頼 ③県が結果を集計し、関係団体に報告 ④意識調査の結果を踏まえ、大学及び実習を行う施設は、その後の指導の参考にする。

(議題2) 事業(案)④に対するご意見と対応方針

(ご意見)

- 実務実習後の病院志望者減少を課題とした事業を行う場合、**実習はあくまで教育の一環**であり、就職とは切り離して考えるべき。
- 現状では、大学から実習生の様子等を尋ねる簡単なアンケートはあるが、今回の事業(案)のようなものはない。病院はこうしたアンケートで**課題を知って、改善すべき**。
- 実習直後に病院からアンケートを配布した方が、回収率は上がるかもしれない。
- 本事業は、指導者側に趣旨をしっかりと伝える必要はあるが、**やる意味はあると思う**。

(対応方針)

- **第1回に提示した(案)にて、事業実施の検討を進める。**

(議題2) 1.令和8年度事業(案)④

第1回から修正なし

課題	実務実習後の病院志望の減少
対策	実務実習に関する学生及び受入れ施設の認識を理解する
事業(案)	<u>実務実習を終えた学生及び受入れ施設にアンケートによる意識調査を実施する。</u>
対象	①実務実習を終えた薬学生(R6調査事業と同程度を想定) ②学生を受け入れた病院及び薬局
実施方法	①病院又は大学事務局を通じて、電子等のアンケートを実施 ②団体窓口等を通じて、電子等のアンケートを実施
協力	大学、県薬剤師会、県病院薬剤師会
仕組み(案)	①県が大学、県薬剤師会、県病院薬剤師会と調査内容及び実施方法を調整 ②①に基づき、県が調査を依頼 ③県が結果を集計し、関係団体に報告 ④意識調査の結果を踏まえ、大学及び実習を行う施設は、その後の指導の参考にする。

(議題2) 1.令和8年度事業(案)⑤その他(第1回資料)

課題	情報の周知不足等
対策	広報の支援、情報提供
事業(案)	<u>①県病院薬剤師会が行う「病院薬剤師キャリア支援研修会」(※1)の広報支援</u> <u>②薬剤業務向上加算(※2)の算定施設の共有及び定期的な周知</u> <u>③県ホームページによる情報提供</u> <u>・令和6年度の調査結果</u> <u>・薬剤師確保に関する情報</u> <u>・医療勤務環境改善に関する情報</u>

(※1) 病院の見学研修会。R7は主に復職を検討している方を対象。

(※2) 特定機能病院又は急性期充実体制加算の届出を行っており、免許取得直後の薬剤師を対象とした研修や別の医療機関への出向を実施する体制を有した医療機関が、病棟薬剤業務を実施する場合の加算。

(議題2) 事業(案)⑤に対するご意見と対応方針

(ご意見)

- 広報支援について、ある就職支援企業では、**20代～40代の薬剤師の登録者が1,900人ほど**いると聞いた。費用はかかるが、復職者向けのイベント案内などで利用できたら良いと思う。
- 外部人材の活用という点では、**県が薬剤業務向上加算の制度の活用を推進する取組みは必要**だと考える。

(対応方針)

- 広報支援について、**就職支援企業の活用を検討**する。
- 外部人材の活用の観点から、**薬剤業務向上加算の制度の活用を推進**する。

(議題2) 1.令和8年度事業(案)⑤その他

修正あり

課題 情報の周知不足等

対策 広報の支援、情報提供

- 事業(案)**
- ① **県病院薬剤師会が行う「病院薬剤師キャリア支援研修会」(※1)の広報支援(就職支援企業の活用を検討)**
 - ② **薬剤業務向上加算(※2)の算定施設の共有及び定期的な周知による制度活用の推進**
 - ③ **県ホームページによる情報提供**
 - ・ **令和6年度の調査結果**
 - ・ **薬剤師確保に関する情報**
 - ・ **医療勤務環境改善に関する情報**

(※1) 病院の見学研修会。R7は主に復職を検討している方を対象。

(※2) 特定機能病院又は急性期充実体制加算の届出を行っており、免許取得直後の薬剤師を対象とした研修や別の医療機関への出向を実施する体制を有した医療機関が、病棟薬剤業務を実施する場合の加算。

(議題2) 2.その他のご意見 (1)

(ご意見)

- 採用活動の基本（必要なことや学生の動向等）は病院と薬局で共通のため、ノウハウ講習会の対象を**病院に限定する必要はない**と考える。
- 令和6年度の調査結果において、学生の内定先について、全国展開の保険薬局が34.2%と最多である一方、**地方展開、小規模、個人の保険薬局は2.4%**である。これは、**200床未満の病院が1.2%であることと同様、中小の薬局が採用に苦慮していることを示している**。令和8年度事業（案）について、特に**中小の薬局を対象にした施策も検討してほしい**。

(対応方針)

- 令和7年度に行う**採用活動のノウハウ講習会について、薬局関係者も対象**とする。
- 令和8年度について、薬局におけるDX推進の一環として別途検討していた**機器等の活用効果を検証する事業**について、**薬剤師確保に関する事業に位置付けての実施を検討**する（予算調整必須）。

(議題2) 2.令和8年度事業（案）⑥その他 第2回で追加

課題	薬剤師が不足している薬局もある。薬局の業務には、医療DXを推進し、機器等を利用することで効率を改善できるものもあると考えられる。しかしながら、特に中小規模の薬局では、機器等の導入に係る資金投入に躊躇し、医療DX推進による業務の改善が進んでいない。
対策	医療DXの推進により業務を効率化する
事業（案）	医療DXのための機器等の活用効果検証事業を実施する。
対象	検証事業参加薬局（県内の10薬局程度）
実施方法	①検証内容の検討及び参加薬局の選定 ②参加薬局に機器等を貸与 ③活用効果の測定（アンケート及びヒアリング） ④効果測定の集計結果の周知 ⑤薬局の医療DX推進のチラシの作成
協力	県薬剤師会

(議題2) 2.その他のご意見 (2)

(ご意見)

- 1 病院の8割以上は赤字のため、病院の努力だけで薬剤師の給与を上げるのは難しい。薬剤師の働きが医師や看護師の働き方にも大きな影響を与えることを踏まえて、診療報酬を上げる働きかけが必要。
- 2 確保すべき人数や本事業のゴールについて、県として具体的な方針や計画を立てたほうが良いと思う。その目標値によって、奨学金の返済補助も選択肢になると考える。

(対応方針)

- 1 診療報酬の引き上げについて、国へ要望することを検討します。
- 2 目標は、あくまで偏在指標で1.0を目指すものと考えています。奨学金の返済補助等に関しては、引き続き情報収集に努めます。

(議題2) 3.まとめ

- 第1回会議のご意見を踏まえ、令和8年度事業(案)として、次の内容を提示しました。
 - ①調剤又は薬剤助手の活用が進んでいる病院の見学・相談会
 - ②管理職又は中堅薬剤師向けの講習会
 - ③実習前に病院薬剤師を知る機会の提供
 - ④実務実習に関する学生及び受入れ施設向けの意識調査の実施
 - ⑤広報の支援、情報提供
 - ⑥薬局における機器等の活用効果検証事業
- まずは上記④～⑥を実施する方針で予算や人員の調整を行います。
 - ①～③は、④～⑥の調整次第での実施を検討します。
- 上記について、ご意見をいただけますと幸いです。

(議題3) 令和7年度の県内病院への調査について

1. 目的

偏在指標において、特に不足とされている病院薬剤師の就労状況や偏在の推移等を把握するため。

2. 調査方法等（令和6年度と同様）

(1) 調査対象

県内に所在する全ての病院 330施設（令和7年4月30日時点）

(2) 調査期間

令和7年11月～同年12月（予定）

(3) 調査方法

- 紙の依頼文及び調査票を病院に郵送
- 紙の依頼文には電子調査票のURLを掲載
- 郵送又は電子調査票により回収

(議題3) 令和7年度の県内病院への調査について

3. 調査内容（資料2、概ね令和6年度と同様）

- (1) 施設の概況（※1）
- (2) 薬剤師の充足状況（※2）
- (3) 薬剤師の確保策
- (4) 業務の効率化支援（※2）
- (5) 薬剤師の勤務状況（※2）

<R6からの変更点>

ご回答の負担及び毎年度把握の必要性を鑑み、令和6年度調査から次のとおり変更しました。

- （※1）令和6年度調査に回答いただいた病院は、回答不要。
- （※2）一部項目を削除。

(議題3) 3.まとめ

- 本資料及び資料2にて、令和7年度の県内病院への調査について、方法等と内容を提示しました。
- こちらについて、ご意見をいただけますと幸いです。

全体まとめ

- 本日は、令和7年度のアンケート調査及び令和8年度事業について、検討していただき、誠にありがとうございました。
- 本日の内容を基に、令和8年度の事業内容を取りまとめ、予算化が必要なものについては、県の財政当局との調整を進めます。その結果や課内の他事業との調整次第では、全ての要望がかなわない場合もあることを御了承ください。
- 次回(第3回)の会議は、令和8年2月頃を予定しています。確定した令和8年度事業の内容及び令和7年度の病院調査の結果を報告する予定です。
- 引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

新卒薬剤師の就職先割合（2025年 日本病院薬剤師会調査）

就職先	割合（％）
保険薬局	37.5%
病院	23.6%
ドラッグストア	20.8%
製薬企業など	約 13%以下
行政・教育機関等	数%未満

- 奨学金返済の影響で、初任給が高く早期内定が出やすいドラッグストアを選ぶ学生も増加中。
- ドラッグストアは調剤併設型が増加しており、薬剤師の専門性を活かしつつ接客もできる職場として人気。